

ただいま！！

8月30日～9月1日

2泊3日の夏期合宿に行ってきました。今年は八ヶ岳天狗岳の登山を中止し、農業体験学習と仲間活動を行いました。速報で仲間より報告いたします。



《山梨県 この街学園の仲間達と》

この街学園の思い出

大内美枝子

長野県この街学園で

ルバーブの収穫をしました。

大きなものを2つ

収穫しました。

ルバーブのジャムを

よくしました。

おいしかったです。

来年は、地震の影響が

なかったら、丸山登山

でなく、ワンランク

上の山をめざしたいです

はぐるま

No.62号

2011年9月16日

社会福祉法人
はぐるまの会

広報委員会
後援会

川崎市多摩区首馬場1-18-17

Tel 044-946-1308



りようのおもいで
今年はおくは合宿実行委員をやりました。下見に行つてこの街学園と八ヶ岳福祉農園に質問をしました。ファーマリーランドにも下見に行きました。土発の日に気合リをみんなの前でやりました。緊張しました。白駒荘では食事係をしました。みそしるの具をよそいました。一夜は合宿実行委員の会議がいそがしかったです。ファーマリーランドではボブスターに乗ったところでした。はたけ体験ではほおずきのしゅうかくをしました。ほおずきを食べたらずっぱかったです。

東日本大震災後6カ月経った今でも、未だに色濃く私たちの生活に影響を与えています。大きな選択は今回の「天狗岳登山」を中止し、「農業体験学習」や「仲間活動」に変えた事です。しかし、新しい企画は仲間達にとっては、大変新鮮な体験となったようです。

登山から帰って来た時の第一声は「がんばったよ」が定番ですが、今年は「おもしろかったよ」「楽しかった」が多かったようです。登山は常に危険が伴い、早朝の暗い中、ヘッドランプで山に登ることは緊張感があります。今年は緊張感よりも、楽しい体験が仲間達には印象的だったようです。

これからまとめをしますので、目標がどのように達成されたか・課題は何だったかが検証されることでしょう

後ほど「だより」で報告を致します。

《ルバーブ収穫の

一場面》



今年の合宿の目標

(1) 長野県の仲間と交流して農業を体験しよう

(2) 作業所ごとに仲間1日旅行を計画し安全に楽しく遊ぼう

夏休み・ア・ラ・カル・ト

夏期休業は特にありませんが、8月11日(17日)は、仕事をお休みし、仲間達がゆつくりと過ごす、「仲間自治活動」となりました。最近の傾向として、ほとんどの仲間が、この活動に参加していますので、年々内容も充実し仲間も慣れてきたようです。地域のお祭にも参加し元気を振りまいて来ました。この日の演目は、アンパンマン

のテーマ曲

見物していた方

から、「とっても

元気でよかった」

と声をかけられ

ました。

《毎年恒例の行事です



ホームでは365日利用の仲間がいくつかのグループに分かれ、暑い川崎を脱出し、軽井沢や白樺湖方面の涼しい空気の中で、ゆつたりと時間を過ごしてきました。

余暇の過ごし方については、以前から課題になっており、祝日のホーム活動や、長期休暇中の旅行等、様々な取り組みを、ホーム毎に工夫してきています。

「〜したい」「行きたい」と仲間の要望は多岐に亘っていますので、叶える為の工夫が必要です。「はぐるまの仲間」は【この間は私の行きたい所に一緒に行ってくれたので、今度は〇〇さんの行きたい所にしようね】という事ができます。仲間によっては、

休養する(ゆつくり過ごす)事が苦手な人がいますが、特別な場所に出かけるだけではなく、ホーム周辺でのんびり過ごす時間も大切です。商店街のお肉屋さんやパン屋さんに出かけるとは、仲間達のよき理解者を増やしていく、地域活動にもなっていますので、心地よいブラブラ時間も大事に生活を組み立てていきたいものです。

災害時・・・緊急2112

災害時の緊急に備えて、川崎市でも様々な調査や研修会が行われています。

最近では、「災害時食生活支援調査」があり非常食などを、どの位備えているか、食事提供に関するマニュアルはあるか等の質問項目に、はぐるまの備えを振り返る、よい機会となりました。

災害時備蓄食料は3日が基本となるのとこのとでしたので、少しずつ備えてはきていますが、予算化してきちんと設備していくと同時に、ホームで日々食料に関する備蓄に工夫をしていかなければならないと思います。

防災訓練が行われました

消防署の担当の方が立会で、仲間の誘導や避難の仕方などの指導をして頂けます。

先日ホーム長会議で訓練のお知らせをしたところ、「窓は開けるんだっけ?」「避難は中学校だよな」「靴は履いて逃げるの?」

「電話は誰がするの」などと、仲間達は意識を持って訓練に臨めるのだと思いました



【火災訓練ではありませんが

ヘルメットの練習をしました】

ちなみに今回の想定は、《火災》なので

「避難場所は広域避難場所とは違う、危険のない場所待機」「靴は、時間があれば持つて出る、避難が先」「通報は職員が行う」と仲間達に説明をし、施設ごとに避難場所を決めておくよう、宿題を出しました。

【この度の震災の特集で、学校の訓練が災害時に動ける行動力と判断力を養った、防災訓練の成果だと「石巻の奇跡」という実例が紹介されました。中学校の生徒が状況を見ながら高台へ避難する行動が、隣の小学生、保育園、地域の人を救ったという映像に胸を打たれると同時に、仲間達の訓練についても日ごろの積み重ねと、《防災教育》の大切さを改めて考えました。】

○訓練後の消防士からの指導一例

- ・焦っている様子が見られるので何度も訓練を実施する。
- ・夜、薬で眠っている人の避難の仕方を考えて、訓練しておく。

防災ミニ情報

【川崎市総務局危機管理室より】

防災テレホンサービス

防災行政無線の屋外スピーカーから流れた放送を「防災テレホンサービス」で聞くことができます。012-091-0174（無料）

メールニュースかわさき

※QRコードの読み取り機能があれば活用下さい

緊急情報や地震情報をメールで配信（携帯電話への登録）

Mailnews-m@k-mail.city.kawasaki.jp

登録の仕方

空メールを送る → 登録メールが返信 → 利用上の注意を読み同意ボタンを押す
情報選択ボタンを押す、配信サービスを選択 → 登録終了ボタンを押す

訃報 8月25日 長原綾さんのお父様がお逝去されました。

心よりご冥福をお祈りいたします。

